

ひかり
きぼうの光

にほんでは、東日本大震災より前に、大きな地しんがおきました。阪神・淡路大震災です。

1 阪神・淡路大震災

1995（平成7）年1月17日。阪神・淡路地方で大きな地しんがおきました。兵庫県神戸市では、たくさんのたてものがたおれ、その後におきた火事で、多くの人がなくなりました。

げんざいの神戸は、すんでいる人びとのどろで、うつくしいまちへとふっこうしています。

神戸市と仙台市の子どもたちは、ともに「しんさいをけいけんしたまちの子ども」として交流し、ぼうさいの大せつ切さについてをまなんでいます。



ぜんかいした住たく1995（平成7）年



ふっこうしたまち2014（平成26）年

人と防災未来センター ていきょう

2 「神戸ルミナリエ」の光

この「神戸ルミナリエ」は、うつくしい電球でつくられたトンネルやおしろです。阪神・淡路大震災でなくなった人たちのことや、大きなひがいのことをつたえるためにはじめられました。

東日本大震災にあった東北の人たちも、「神戸ルミナリエ」のうつくしい光を見てはげまされました。



©Kobe Luminarie O.C.

「神戸ルミナリエ」のうつくしい光



神戸市の商店がいに立つ「鉄人28号」のぞう

この「鉄人28号」のぞうは、商店がいのふっこうのシンボルとしてたてられたんだって。

